

## クサビ形ワイヤソケットご使用上の注意事項

- ◆ご使用前に、この取扱説明書を必ずお読み頂き、内容をよくご理解頂いたうえで、ご使用ください。  
また、必要と思われる部署や現場には必ず配布し、必要な場合にはいつでも参照できるようにしておいてください。

### 1. クサビ形ワイヤソケット取付け手順について

- (1)ワイヤロープの径とソケットのサイズを確認して下さい。
- (2)クサビ形ワイヤソケットにワイヤロープを組み込む時は、ワイヤロープとクリップの向きに注意してください。
- (3)ワイヤロープとクリップの向きについては、図1-1,-2を参照してください。  
この時クリップは、ワイヤロープに荷重が掛かり始めた時にワイヤロープが抜けるのを防ぐ為に使用します。  
(クリップは、仮止め程度の締め付けで結構です。)

注意：取付けの向きを間違えますと、所定の強度が得られない場合があります。

図1-1. 正しいワイヤロープの組込み状態

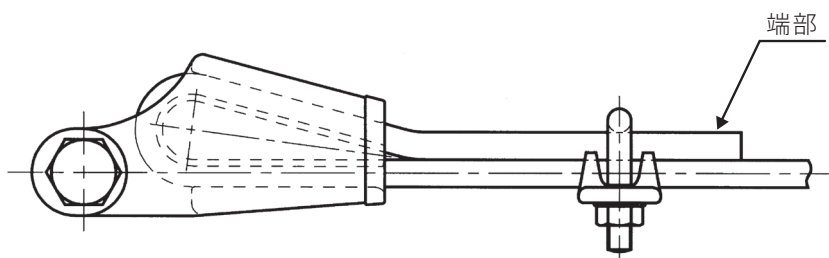
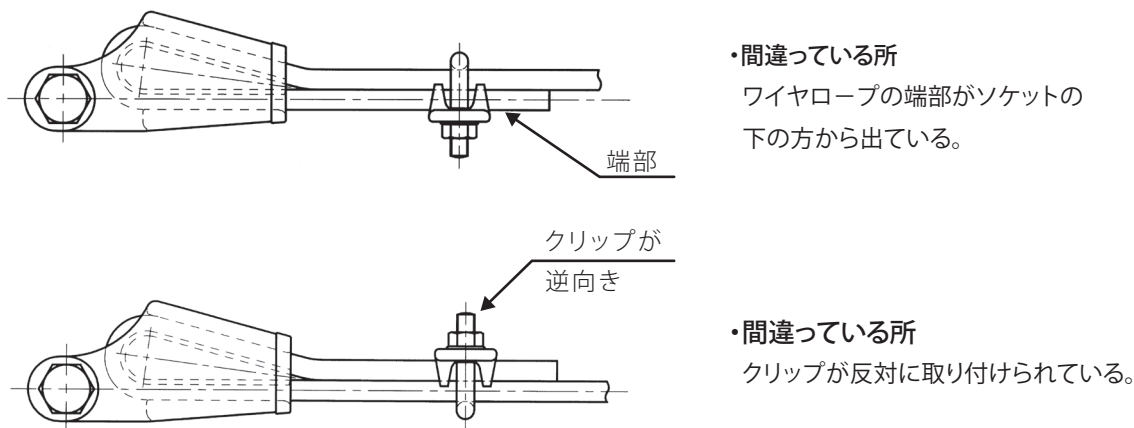
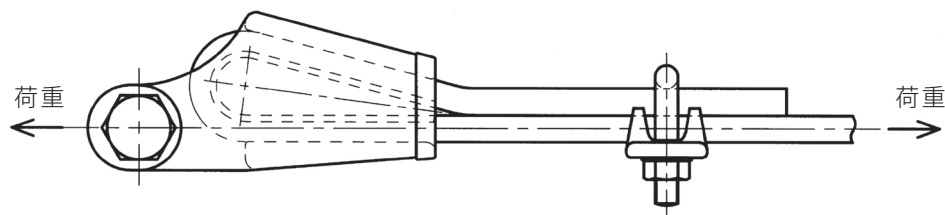


図1-2. 誤まったワイヤロープ組込み状態



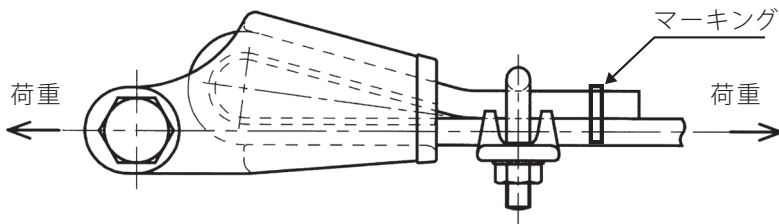
- (4)組込みが終わりましたら荷重を掛けていきます。

図2. 荷重方向



- (5)十分に荷重が掛かったのを確認後、一度クリップをはずし再度クリップを取り付けます。  
また締付けに際しては、JIS規格で定められた締付トルクを守って下さい。

図3. クリップの再取付け



- (6)ワイヤロープのすべり確認用にマーキングを付ける場合は、図3.クリップの再取付けを参考にマーキングしてください。  
※クサビ形ソケットの効率は65%～70%ですが、加工が不適切なものは50%以下の効率になりますのでご注意ください。

## 2. クサビ形ワイヤソケット定期点検について

- (1) 本体、ピンに傷、割れ、変形等がないか外観を点検してください。
- (2) ロープのすべり、抜けの有無を確認してください。
- (3) クリップの取付状態(ナットの緩み、取付方向)を確認してください。
- (4) ロープの素線切れがないか確認してください。

※クサビ形ワイヤソケット点検マニュアルをご覧ください定期的な点検の上ご使用頂くようお願いいたします。

## 3. クサビ形ワイヤソケット取扱いについて

- (1) 本製品は鋳鋼で製造しております。定期的な非破壊検査、引張試験を抜き取りにて行っておりますが(静荷重にて安全率5倍以上)、本体に繰り返し衝撃が加わるご使用方法については適しておりませんので、このようなご使用はお避け頂くようお願い申し上げます。
- (2) ボルト・ナット及びウエッジは、安全のためにクサビ形ワイヤソケット以外には使用しないで下さい。